

(添付ファイル 第8号様式)

平成25年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	
						採択年	総事業費	進捗率				事業進捗内容
							工事費	進捗率				
						目標年	用地費	進捗率				
河川総合開発事業	16	鳥羽河内ダム建設事業	鳥羽市		[全体事業概要] 鳥羽河内ダム ダム形式:重力式コンクリートダム穴あきダム(流水型) ダム高 39.0m 洪水調節容量 2,700千m ³	H9	15,300	16.6%	ダム検証による事業の再検証 調査・設計段階	鳥羽河内ダムは継続中の事業であり、平成17年の河川整備計画策定から5年が経過した平成22年度にダム検証の対象となったことで、再評価を延期し、検討結果と事業の妥当性について、三重県公共事業評価審査委員会に付議することとなっている。 鳥羽市の人口は、緩やかな減少傾向にあるが、世帯数に大きな変化はなく、また、全国的に洪水被害が頻発する中、地元住民からは、治水対策の早期完成を望む声が多い。	総便益/総費用 B/C = 177億円 / 135億円 = 1.31	穴あきダムに関する調査・設計を進め、ダム本体工事の早期着手を目指す。
						~	11,200	22.6%				
						H40	4,100	0.0%				
					[事業目的] 洪水調節							

注:再評価理由

- 事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
- 事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
- 再評価実施後一定期間が経過している事業
- 社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要が生じた事業

平成25年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	
						採択年	総事業費	進捗率				事業進捗内容
							工事費	進捗率				
						目標年	用地費	進捗率				
工業用水道事業	23	北伊勢工業用水道第二次改築事業	四日市市・桑名市・鈴鹿市・川越町・東員町		<p>【全体事業概要】</p> <p>老朽劣化対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管更生工事 2,513m ・2条化工事 5,900m ・制水弁取替工事 15基 ・電気機械設備取替工事 26箇所 <p>大規模地震対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要施設耐震化工事 20施設 ・水管橋耐震化工事 17橋 	H21	13,801	30.7%	<p>老朽劣化対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管更生工事 1,628m 64.8% ・2条化工事 880m 14.9% ・制水弁取替 3基 20% ・電気機械設備取替 10箇所 38.5% 	<p>・淡水使用量については、高度成長期の産業拡大により昭和30年代から急速に伸び、平成3年頃から平成12年頃まで使用量が多く、その後回収水が減り現在はピーク時の80%ほどとなっている。</p> <p>・淡水補給水量については、昭和46年がピークとなり、その後減少していき、その中、工業用水道の使用量は、ほぼ横ばいとなっている。</p> <p>・契約水量については、平成17年度以降やや増加。平均給水量は漸減。</p> <p>・漏水件数について、年間5~6件発生。</p> <p>・東海・東南海・南海地震や、直下型の大規模地震が想定されている。</p>	<p>【費用対効果分析】 B/C = 2.16</p> <p>【コスト削減】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パイプインパイプ工法を採用することでコスト削減。 ・需要の変化から既設管の口径より可能な限り小さい口径にすることによりコスト削減。 ・口径300mm以下の配水管において、浅く埋設することによって土量を減らすことができることによりコスト削減。 ・監視事務所から直接制御化することで、中継する制御装置を省略化、汎用型装置の導入によりコスト削減。 <p>【代替案】</p> <p>既存の施設及び配水管の改築事業を行っていることから、代替案はない。</p>	<p>今後も引き続き、水の安全で安定的な供給に取り組み、工業用水施設の老朽劣化対策、大規模地震対策を推進していきます。</p>
						~			13,696			
						H30	105	100.0%				

注:再評価理由

- 事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
- 事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
- 再評価実施後一定期間が経過している事業
- 社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要が生じた事業